

事業番号	事務事業名	鏡野町スポーツ協会補助金		所管課名	生涯学習課	令和 3 年度課長名	黒瀬 豊
06565	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	体育振興係	担当者・シート作成者	長石 和大
	施策名	34	生涯スポーツの推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町スポーツ協会の事務局を担う。総会の開催、町協会所属の専門部への補助金交付、大会案内、大会結果報告、体協ニュース発行を行う。	町民がスポーツに親しみ、スポーツ活動を通じての健康と交流を促進するため、体育協会に活動支援として補助金交付を行ってきた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町民	ア 所属専門部数	人	見込 実績	12 13	12 13	14 14	14	14
イ	イ 会員数	人	見込 実績	1,100 867	1,100 864	10,000 854	10,000	
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 各種スポーツの底辺拡大を図り、住民の健康を維持してもらう	ア 延べ大会参加者数	人	目標 実績 達成率	2,600 1,764 67.8%	2,600 876 33.7%	2,600 1,045 40.2%	2,600	2,600
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 役員会、総会の開催	ア 会議回数	回	目標 実績 達成率	7 7 100.0%	7 5 71.4%	7 7 100.0%	7	7
イ 主管大会の開催	イ 大会開催回数	回	目標 実績 達成率	30 24 80.0%	30 15 50.0%	30 7 23.3%	30	30
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		保健体育総務費		03	01	鏡野町スポーツ協会補助金					
1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比				
国庫支出金						国庫支出金										
県支出金						県支出金										
町債						町債										
その他特財						その他特財										
一般財源	1,964	1,814	1,864	1,864	50	一般財源	1,814	1,814	1,864	1,864	1,864	50				
合計	1,964	1,814	1,864	1,864	50	合計(A)	1,814	1,814	1,864	1,864	1,864	50				
財源名称						従事正職員人数	2	2	2	2	2					
						延べ業務事務時間	200	200	300	300	300	100				
						人件費計(千円)(B)	700	669	1,005	1,026	1,026	336				
	最終予算額		1,864 千円		予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)	2,514	2,483	2,869	2,890	2,890	386			
主な 支出事業内容 (予 算)	補助金					1,864 千円	主な 支出事業内容 (決 算)	補助金					1,864 千円			

事業番号	06565	事務事業名	鏡野町スポーツ協会補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
スポーツ活動支援業務のため補助金交付及び会計の透明化を推進しているが、会員数の減少とスポーツの多様化がみられる
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
協会所属各部の活動費等の見直しを行い、基準を明確化して会計の透明化を図り、各部内運営を円滑に行うよう努めた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
コロナ禍により、活動を行えていない部もあるが活動を再開できるようになれば交付額の維持を望む声が多い。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 地域におけるスポーツ振興推進の必要性に変化はなく、スポーツ協会への活動支援がなくなれば運営ができない可能性が高い。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 各部の運営資金として補助金を交付しており、スポーツ協会活動において町が関与する部分を精査する必要はあるが、補助金交付及び事務局等の関与がなければ、現状ではスポーツ協会運営が立ち行かない。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 主に町民で構成された団体であり適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 各部の補助金額の基準又は活動改革によって、スポーツ協会全体の財政及び活動成果の向上が見込める。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 スポーツ協会の活動廃止は町のスポーツ推進及びスポーツ大会の運営等に多大な影響があり、スポーツ愛好家による各部運営が行政による運営になることでの事務及び財政負担は著しく増加する。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 スポーツ人口の増加のため、総合型スポーツクラブ等のその他団体の活動と相互に補完し合い、協力する必要がある。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 活動及び会計の明確化及び透明化を図り、補助金の適正使用を徹底し、活動費の自主財源確保を検討することで補助金の依存割合が低減することが可能。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 スポーツ協会の運営は設立から年々効率化され、業務時間は削減されている。今後の活動次第では増加する可能性はある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 スポーツ協会の活動はスポーツ振興に結び付いており、公平公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	以前からの事業方針及び予算配分の適正化により行政関与の縮小及び会計の透明性は向上している。今後は部員数の増加方法を検討する。																						
B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p style="text-align: center;">今後の改革改善案</p> <p>団体運営及び会計の適正化を維持し、スポーツ人口の増加や、休眠部員の掘り起こしに注力する。</p>																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
部員は高齢化しており、活動及び組織力が低下しているため若年層の加入又は現状を維持する方法を検討する。																							